

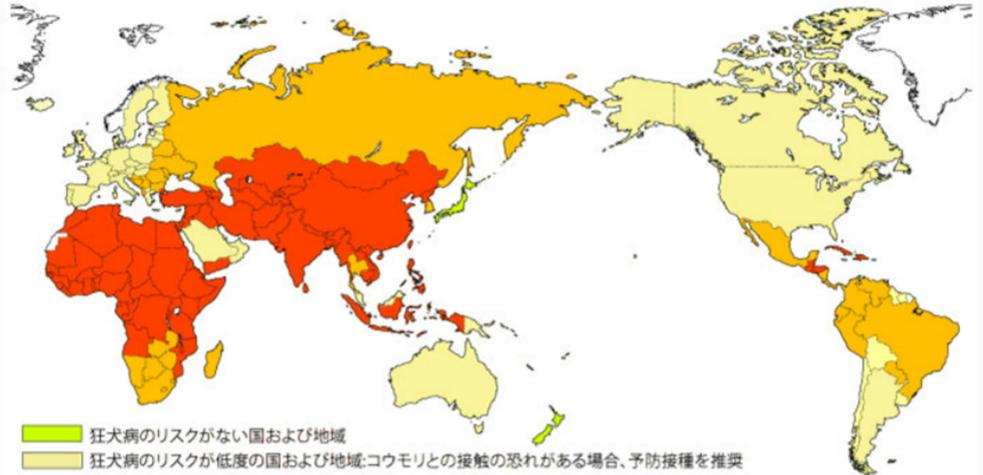


## 狂犬病について

**狂犬病は世界中で年間数万人が死亡する人獣共通感染症です。発症するとほぼ100%死亡します。**

ウイルスは感染動物の唾液に含まれます。感染動物に咬まれたり、傷口、目や口の粘膜をなめられたりすることで神経系の細胞に感染します。動物は前足をなめるので、ウイルスの付いたツメで引っかかれても感染する可能性があります。

日本国内の場合、狂犬病は発生していないので感染の心配はありませんが、渡航中に感染しないよう注意が必要です。海外滞在中はむやみに動物に手を出さないようにしましょう。



出典:厚生労働省検疫所FORTHホームページ(<https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/name47.html>)

万が一、海外で動物に咬まれた場合には・・・

- ①すぐに傷口を石けんと水でよく洗いましょう。
- ②現地医療機関を受診し、傷の手当てと狂犬病のワクチン接種を受けましょう。
- ③帰国時に検疫所(健康相談室)に申し出ましょう。

日本国内には狂犬病の発生はありませんが、近隣諸国では狂犬病がまん延しており、日本への侵入リスクは皆無ではありません。犬を飼われている方は、社会に対する責務として、犬の登録と年1回の狂犬病の予防注射を必ず行ってください。



詳しくは熊本市HP「令和7年度(2025年度)狂犬病予防集合注射のお知らせ」

定点種別	疾患名	状況	13週(3/24~3/30)		14週(3/31~4/6)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	—	38	1.52	7	0.27
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	69	2.76	36	1.38
小 児 科	RSウイルス感染症	/	20	1.25	23	1.35
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	4	0.25	3	0.18
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	22	1.38	27	1.59
	感染性胃腸炎	—	141	8.81	111	6.53
	水痘(みずぼうそう)	—	5	0.31	12	0.71
	手足口病	—	2	0.13	1	0.06
	伝染性紅斑(りんご病)	—	14	0.88	5	0.29
	突発性発しん	/	7	0.44	5	0.29
	ヘルパンギーナ	—	0	0.00	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	1	0.06
眼 科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	7	1.40	0	0.00
基 幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	1	0.20
	無菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	/	3	0.60	4	0.80
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	3	0.60	2	0.40

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし